

平成 28 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	09	01	01	194030	火災予防充実強化事業
総合計画	分野	暮らし			
	政策	2-3	防災危機管理体制の充実		
	施策	3	消防力の強化		
目的	火災の未然防止に努め、火災予防対策の推進を図る。				
対象	園児及び小学生含む住民、事業所				
意図	住民や事業所に対し火災予防対策の強化と防火意識の高揚を推進し、火災件数の減少及び死傷者ゼロを図る。				
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること				
○講習会・火災予防強化活動の実施	防火管理者講習会（新規講習及び再講習）、事業所等の訓練指導、防火対策講話、春季・秋季火災予防運動、住宅用火災警報器未設置世帯への普及、防火対象物・危険物施設の査察				
○消防フェスティバルの実施	消防車両及び装備品の展示、放水体験、消防ポンプ自動車乗車体験、消防装備の試着等消防演習と同時開催				
○幼年・少年消防クラブ防火活動推進	絵画展、リーダー研修会の実施				
○職員の教育研修	岩手県消防学校（火災調査科）等での研修				
○防火資料保存業務	防火対象物平面図等を電子化し管理・保管				
市民参画の有無	〔 対象外 〕				
市民協働の形態	共催		実行委員会・協議会	事業協力・協定	
	後援・協賛		補助・助成	委託	
活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
① 査察件数（防火対象物・危険物施設）	件	計画	1,500	1,600	
		実績	1,612	1,459	
② 訓練指導及び講話会等の回数	回	計画	300	300	
		実績	450	419	
③		計画			
		実績			
成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
① 火災件数（暦年）	件	目標	40	40	
		実績	50	47	
② 住宅用火災警報器設置率	%	目標	82.0	84.0	
		実績	82.0	83.7	
③		目標			
		実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		○ 目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
平成27年の火災件数50件と比較して火災件数が減少したものの、たき火や火入行為等火気取り扱い不注意による火災が乾燥期に多発した。 (平成27年火災件数50件、平成28年火災件数47件)		
目的妥当性	公共関与の妥当性	市が実施主体となり、市民の防火意識の高揚を図るとともに火災の減少及び死傷者ゼロを目指すために、火災予防を実践することは妥当である。
	○ 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	火気取り扱い不注意による火災防止及び住宅用火災警報器の未設置世帯への設置促進は、広報等を活用しPRすることにより向上する余地がある。また、幼少年を対象にした研修会は火災予防の基礎知識を養い育て、地域防災の担い手を育成することができる。
	○ 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	出火防止のほか、住宅防火対策等を行う義務的的事业である。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	受益者は市民が対象であり、火災の減少と火災による死者を無くすことが目的であることから、受益機会は公平である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
○ 適正である		
総合評価 …上記評価結果の総括		
○消防演習と消防フェスティバルを並行開催することによって多数の市民が来場し、消防を広く理解し防火意識の高揚が図られた。		
○幼年消防クラブ絵画展は、消防車両を題材に実施し多数の市民が観賞することによって、防火意識の高揚が図られた。		
○少年消防クラブリーダー研修会は、7団体が参加。研修によりクラブ員の育成ができた。		

平成 28 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-1	事業名
一般	09	01	01	194030	火災予防充実強化事業

単位：千円

		27年度 決算額(A)	28年度 決算額(B)	29年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		2,760	2,550		△ 210
財 源 内 訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	2,760	2,550		△ 210

事業期間	○ 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
部経営方針における目標			
火災の未然防止に努め、火災予防対策の推進を図る。			
事業開始の背景・経緯			
消防は火災を予防し、国民の生命、身体、財産を火災から保護することを目的にしていることから、火災予防対策の充実強化を図ろうとするものである。			
事業概要			
○講習会・火災予防強化活動の実施 防火管理者講習会（新規講習及び再講習）、事業所等の訓練指導、防火対策講話、春季・秋季火災予防運動、住宅用火災警報器未設置世帯への普及、防火対象物・危険物施設の査察			
○消防フェスティバルの実施 消防車両及び装備品の展示、放水体験、消防ポンプ自動車乗車体験、消防装備の試着等 消防演習と同時開催			
○幼年・少年消防クラブ防火活動推進 絵画展、リーダー研修会の実施			
○職員の教育研修 岩手県消防学校（火災調査科）等での研修			
○防火資料保存業務 防火対象物平面図等を電子化し管理・保管			
事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等			
消防フェスティバルと消防演習の同時開催は、フェスティバルに来場した幼少年の保護者から消防訓練等も同時に見学ができるとの意見が多いことから、消防を広く理解することができる継続事業と考える。 防火講話会、消防訓練等において、火災予防対策と住宅用火災警報器の設置による火災の未然防止を説明することで、防火意識について理解が深まると考える。 幼少年を対象にした事業は、市内の保育園、幼稚園及び小学校の児童が広く参加していることから、火災予防に向けた学習と消防の仕事に対する理解が深まるとの意見と継続要望がある。			

担当部署 部名 消防本部 課名 予防課 担当係長 藤原秀孝 内線 374 (単位：千円)

【事業手法の詳細】…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】	
① 講習会・火災予防強化活動の実施	831千円 (前年度比:78千円増) ◇内容 防火管理者講習会(新規講習・再講習)事業所等の訓練指導、防火対策講話、春季・秋季火災予防運動、住宅用火災警報器未設置世帯への普及、防火対象物・危険物施設への査察等 <経費>講習会テキスト、火災調査用物品、普及啓発用DVD、ポスター等 講習会用プロジェクター及びスクリーン購入 火災調査用(北署)デジカメマクロレンズ及びリングライト購入
② 消防フェスティバルの実施	82千円 (前年度比:44千円減) ◇内容 消防車両・装備品の展示、放水体験、消防ポンプ自動車乗車体験、消防装備の試着等 ◇時期 平成28年6月5日(消防演習と同時開催) ◇場所 北上川河川敷 <経費> 消耗品
③ 幼年・少年消防クラブ防火活動推進	448千円 (前年度比:52千円増) ※幼年消防クラブ(保育園・幼稚園単位) 38クラブ ※少年消防クラブ(地区・小学校単位) 9クラブ及び19小学校 ◇内容 絵画展(場所:スーパー・市施設)春季・秋季火災予防運動の一環、ポスター作成リーダー研修会(指令室見学、消防車両乗車、放水体験、消火器訓練、煙体験等) <経費> 絵画展用消耗品、訓練用資機材
④ 職員の教育研修	379千円 (前年度比:296千円減) ◇内容 県消防学校(火災調査科 2名)ほか <経費> 教材費、旅費
⑤ 防火資料保存業務	810千円 (前年同) ◇内容 防火対象物平面図等をスキャニングにより電子化し管理・保管 <経費> スキャニング1,000枚 H23~H29(計6,600枚)
【火災件数】 H28(暦年) 47件(枯草焼き、たき火が原因の火災が多数) 目標件数40件 *H27(暦年) 50件	